



伊豆の国市立葦山中学校 学校だより

学校教育目標

「明日に希望を持ち今日を頑張る生徒」

重点目標

「かしこく考え やさしく感じ たくましく生活する」

葦中だより

住所: 伊豆の国市葦山葦山393

電話番号: 055-949-1061

令和2年12月2日発行

第40号

スポーツの力は凄い! ~東京2020オリンピック・パラリンピックへの挑戦~

伊豆の国市立葦山中学校長 手島雅恵

若山選手からたくさんの言葉をもらいました



東京2020オリンピック・パラリンピックが来年に延期されました。そのことは、私たちのような観戦する立場の人たちでさえ残念でなりません。ですから、当事者やスタッフ、運営関係者など、想像以上に心が折れそうになったでしょう、その辛さは計り知れません。競技に人生をかけているスポーツ選手みんなが憧れ続けてきたオリンピック・パラリンピック・・・しかも東京で開催される、日本選手にとっては大きな力となります。コロナ禍にあっても、スポーツ選手たちはトレーニングを重ね、頑張り続けています。今回、葦山中学校で講演いただいた車椅子ラグビーの若山英史選手もその一人です。

若山選手は沼津市出身です。19歳の時にプール事故で頸椎を骨折し、そのときに脊髄を傷つけてしまいました。そして、体が動かなくなるという障害を負うことになりました。リハビリの中、車椅子ラグビーと出会い「自分もリハビリをしたら今までと変わらない生活ができるんだ」という勇気をもらいました。ロンドンパラリンピックに出場し、メダルを逃した後「小さな目標をつかってやっていくことで、自分の可能性を高めていくんだ」と実行しました。そして、リオデジャネイロパラリンピックの銅メダル獲得に繋がったのです。若山選手は「車椅子になって、たくさんの人たちに支えられていること」を実感しました。両親、友人、チームメイトみんなに感謝の気持ちを伝えました。

若山選手の言葉一つ一つが私たちにとってかけがえないものになりました。人が歩んできた、その生き様から私たちは学び続けています。今、オリンピック・パラリンピックに挑戦し続けているスポーツ選手にエールを贈ります。そして、来年、選手の皆さんの輝く姿を日本で見られることを期待したいです。

タイヤ交換をして試合続行!





大学の先生との道徳授業

十一月十七日(火)に、二年五組の子供たちが石丸憲一創価大学院教授と一緒に道徳科授業を行いました。最初は緊張していた子供たちも石丸先生の優しい声掛けに、素直な気持ちを伝えていきました。この授業の主題は「心に寄り添う」で「気持ちを込めて」という資料に登場する看護師の山田さんの気持ちや行動について考えました。看護師という仕事だから患者さんに対して寄り添うのか、人としての優しさから寄り添うのかなど、子供たちから様々な意見が出されました。石丸先生の授業を通して、改めて、私たちは道徳科授業の重要性を実感できました。

若山英央選手への感謝の言葉!

若山選手は最後に、「できるかなと思っているんだっから、やってみる。失敗から学んでいけばいいんだ。一步踏み出す勇気がいろんな視野を広げていく」と話して下さいました。そして、車椅子ラグビー体験をしました。体育館中に笑顔があふれていました。スポーツの力は凄いです。子供たちの感謝の言葉も感激です。

○私は若山選手のことをもっと知りたいと思い、家に帰ってからYouTubeやインスタグラムで調べてみました。私は将来、福祉関係の仕事に就きたいと思っています。YouTubeで「車椅子ラグビー若山選手」と検索したとき、プレーしている若山選手ではなく料理している若山選手を見て、何事にも挑戦している姿がかっこよく、輝いていました。障害を抱えていても、今の生活を前向きに頑張っている人たちがたくさんいます。だから、障害を持つ方々が安心して暮らせるお手伝いができるよう、福祉関係の仕事をやりたいです。私が将来、どのようなことをしたいのかを改めて考えることができました。いつ、何が起こるか分かりません。だから、毎日感謝の気持ちで忘れず、過ごしたいです。

○怪我をしても強く生きる若山さんに感動しました。私のおじいちゃんも脊椎を怪我して車椅子で生活をしています。おじいちゃんは自分で歩く練習をしています。そのおじいちゃんの頑張る姿も凄いなあと思いましたが、若山さんの「怪我をしてもスポーツをする」ということ、尊敬します。しかも日本代表という凄い人にお話をしてもらったこと、不思議な気持ちと共に、いい日になりました。車椅子ラグビーのこと、パラリンピックのこと、興味がとてもわいてきました。

調理実験をしました!~家庭科授業~

技術・家庭科授業では新型コロナ感染症関係で、調理実習や実験を控えていましたが、先日、2年生は調理実験を行いました。一日に摂取したい生の野菜量を食べやすくする方法について、各班で考え、炒める、ゆでる、揉む等の作業を手分けして行っていました。子供たちの張り切って食に向かう様子がとても印象的でした



保護者の方からのご意見・感想
()年()組()
(生徒名)

※体調やいじめ等教育活動の中で気になる点や心配なことについても遠慮なくお知らせください。